

～地球にやさしい循環型社会を目指して～ 「4R」生活を実践しよう



4R運動とは、次の4つの頭文字(R)をとった運動で、順番通りに取り組むことが、最もごみを減らす効果があります。その中の「リサイクル」は、4Rの中でも最後の手段。普段の生活の中から4Rを心掛け、地球にやさしい循環型社会を目指しましょう。



まずは
リフューズ
Refuse
ごみを作らない

家にごみになるものを持ち込まないことが1番！エコバッグの活用や必要以上の買い物をしないことなどを心掛けましょう。

次に

リデュース
Reduce
ごみを減らす



外出の時にはマイボトルを持参する。繰り返し使えるマイボトルは、環境に良いだけでなく、お財布にも優しい取り組みのひとつです。

続いて

リユース
Reuse
くり返し使う



リサイクルプラザでは、粗大ごみ1万3,906点（平成22年度実績）のうち、1,317点を修理・補修して再生家具として販売しました。その他にも、不要になった子供用品などを販売するリユースマーケットや、家庭から出た不用品や古本の交換などを行っています。あなたにとって不要な物でも、捨てる前にもう一度使えるか見直してみましょう。

最終的に

リサイクル
Recycle
資源の再生利用

市から排出される資源物のうち、ペットボトルは平成22年度で約506^トを回収し、大型スーパーなどの食品トレーとしてリサイクルされました。食品トレーはさらに、容器包装プラスチックとして回収し、電気を作る燃料としてリサイクルされます。限りある資源の有効活用をするためにも、ペットボトルなどの資源物はきちんと分別しましょう。

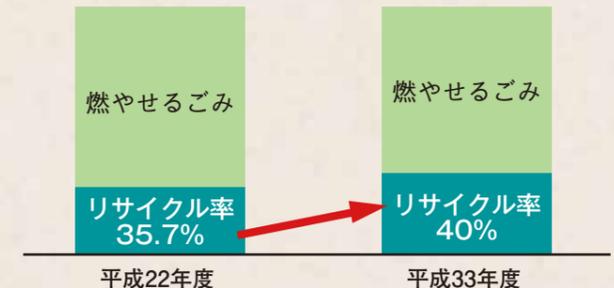
～平成33年度までにリサイクル率の向上を～ みんなで目指そう40%



海老名市は、座間市・綾瀬市と共同で一般廃棄物処理基本計画を策定し、平成33年度までに「ごみ焼却量30%削減」と「リサイクル率40%」という目標値を定めています。特にリサイクル率は、21年度は35.2%、22年度には35.7%と向上しており、人口10万人以上～50万人未満の市の調査結果（21年度実績）では、県内3位、全国17位となっています。

可燃ごみを減らし資源化することで、ごみ焼却などの処理費が減り、地球温暖化の原因物質とされるCO₂の排出を削減できます。また、限りある資源の有効活用につながるといったメリットもあります。

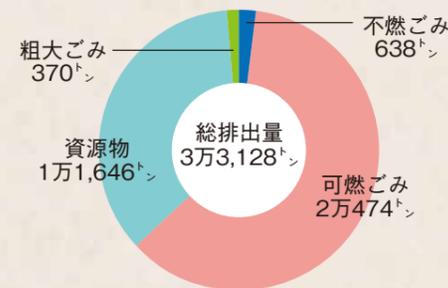
『平成33年度までにリサイクル率40%』を目指したごみの減量化と資源・リサイクル化の取り組みに、皆様のご協力をお願いします。



※リサイクル率とは、ごみと資源の合計量に占める資源の量の割合のことです。

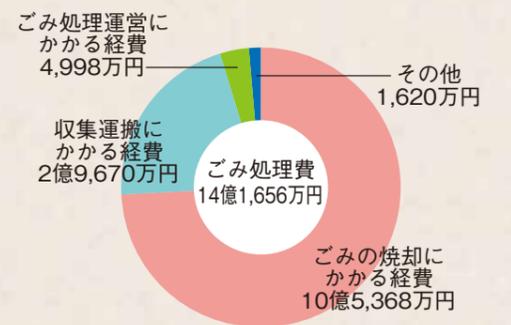
家庭から排出されたごみの量 平成22年度

1日1人当たり約712[㍉]を排出しています



ごみ処理にかかる経費 平成22年度

燃やせるごみの処理には、年間1人当たり約1万1,000円かかっています



ごみをなるべく出さないような生活をしたら、費用が抑えられるんじゃないかな？



こんな出し方はNGです！



- 時計などの電池は抜き取ってから出す
- 食べ残しや汚れは、軽くすすいでから出す
- ふたは取り、ラベルを剥がし軽くすすいでから出す
- 中身を出し軽くすすいでから出す

例えば...濡れた布や食品チューブは「燃やせるごみ」に出してください



汚れたものはリサイクルできません。資源物として出されても、汚れたものはリサイクルできません。汚れのひどいものや中身が簡単に取れないものは「燃やせるごみ」または「燃やせないごみ」として出してください。

皆様のご協力をお願いします



ごみ出しルールの徹底を
ごみ出しは、朝の8時30分までに、ごみ集積所に出すようにしてください。また、収集作業後にはごみを出さないなど、ごみ出しルールの徹底にご協力ください。

市内で集められた資源物は、ひとつひとつ手作業で選別を行っています。リサイクル率と作業効率向上のため、ごみはきちんと分別して出すようお願いいたします。



資源化センターより
資源の選別はひとつひとつ手作業で行っています